

赤 村 通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～

平成28年3月

赤村通学路安全推進会議

1. プログラムの目的

平成24年、全国で登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことから、平成24年8月に赤小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容についても関係機関で協議してきました。

引き続き通学路の安全確保に向けた取組を行うため、このたび、関係機関の連携体制を構築し、「赤村通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

2. 通学路安全推進体制の確立

通学路の安全を確保するため、関係機関の連携を図るため以下をメンバーとする。

○合同点検の体制

- ・赤村教育委員会
- ・赤村政策推進室
- ・赤中学校（中学校代表者）
- ・福岡県田川県土整備事務所
- ・赤村産業建設課
- ・赤小学校（小学校代表者）
- ・田川警察署

3. 取組方針

（1）基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、緊急合同点検後も合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行き、対策の改善・充実を図ります。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図っていきます。

[通学路安全確保のためのPDCAサイクル]



（2）定期的な合同点検

○合同点検の実施時期等

- ・赤小学校及び上赤分校、赤中学校について、それぞれ5年に1回、合同点検を実施します。
- ・実施時期は、積雪や凍結時の危険箇所の把握が必要であることから、夏期と冬期を交互に行います。
- ・効率的、効果的に合同点検を行うため、通学路安全推進会議において、重点課題を設定し、合同点検を実施します。

(3) 対策の検討

- ・ 合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに、歩道整備や防護柵設置のようなハード対策や交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など対策必要箇所に応じて具体的な実施内容を検討します。

(4) 対策の実施

- ・ 対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう、関係者間で連携を図ります。

(5) 対策効果の把握

- ・ 合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また、児童生徒が安全になったと感じているのか等を確認するため、地域住民からの意見の聴取、車両と歩行者の離隔を測定するなど、対策効果の把握を行います。

(6) 対策の改善・充実

- ・ 対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実に図ります。

4. 箇所図、箇所一覧表の公表

- ・ 点検結果や対策内容については、関係者間で認識を共有するために「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し、公表します。